

大阪大学外国語学部デンマーク語専攻／旧大阪外国語大学外国語学部デンマーク語学科・専攻創立 50 周年に当たり、心よりお祝い申し上げます。

外国語学部のデンマーク語専攻は、現在においても、デンマーク語を専攻語として学ぶことができる国立大学の中で唯一の存在ですが、50 年前の 1966 年当時には、かなり先駆的な専攻語だという印象だったようです。

その後、デンマーク・スウェーデン語学科を経て、地域文化学科中・北欧専攻デンマーク語専攻となり、2007 年 10 月の統合後は、デンマーク語専攻として、毎年 18 名プラス  $\alpha$  の学生を受け入れる外国語学部の主要な専攻語となりました。

旧外大でデンマーク語教育が始まった発端が、キェルケゴール哲学の研究者の存在にあったということを知ると、作家アンデルセンや言語学者イエスペルセンの名前を出すまでもなく、デンマークの文化の奥深さを感じます。また、デンマークは、日本では、福祉制度の充実した国として有名ですが、レゴやレゴランドの存在も、デンマーク語専攻の華やかさの一因だろうと思っています。

言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ (Culture Through Language, Language Through Culture) という外国語学部の精神を十二分に体現しているデンマーク語専攻が、創立 50 周年を一つの節目として、今後さらなる発展を遂げられることを祈念いたしまして、私からの祝辞といたします。

(大阪大学外国語学部長 東 明彦 あずま あきひこ)